

第6章 ～公共施設マネジメントに向けて～



※写真：富士市文化会館（愛称 ロゼシアター）平成5年（1993年）新築
（平成25年（2013年）に20周年を迎えた 舞台設備等が老朽化したため、平成21年（2009年）に中ホール、平成24年（2012年）に大ホール、平成26年（2014年）に小ホールと順次改修工事を行っている）

第6章 公共施設マネジメントに向けて

1. 課題と対策の方向

公共建築物を取り巻く環境（人口・財政の現状と予測）、公共建築物の現状及び中長期保全計画の算出等により得られた課題と対策の方向について、全般と施設用途別に分類して以下に要約する。

表 6-1. 課題と対策の方向

分類	課題	対策の方向
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・市有建築物を維持保全するための財源は今後、減少傾向になるにもかかわらず、老朽化対策による大規模修繕や改築は増加する。 ・市民のニーズの多様化や地区別人口増減など環境の変化により、施設の需給バランスが一部崩れている（子育て支援系施設の不足、小中学校の空き教室の増加、高齢者福祉施設の不足、コミュニティー系施設の貸部屋の余剰等）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市有建築物の総量と配置の適正化。（将来需要を見込む） ・詳細な調査のうえで、遊休資産、余剰スペースの有効活用を図る。 ・必要な建築物の長寿命化。 ・施設管理コストの削減。 ・民間活用。 ・広域連携。
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・児童数が減少し、建築物の空きスペースが増加している。地区間の差が大きい。 ・設備に関する積み残し工事が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全重視による工事予算の適正配分。 ・減築、多機能化。
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒数が減少し、建築物の空きスペースが増加している。 ・設備に関する積み残し工事が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全重視による工事予算の適正配分。 ・減築、多機能化。
子育て支援施設	<ul style="list-style-type: none"> ・供給不足の状態にある。 ・児童クラブの利用率は施設間でバラツキが大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス水準の調査（利用率のバラツキ解消により、現施設においても供給力が向上する可能性あり）。 ・量拡大と配置の適正化。
保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・待機児童数は減少傾向にあるが、施設は供給不足の状態にある。 ・施設間で施設管理コストのバラツキが大きい。 ・設備に関する積み残し工事が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営方法の見直しによる施設管理コストの削減。 ・安全重視による工事予算の適正配分。 ・認定こども園への移行、民間活用等による量と配置の適正化。

分類	課題	対策の方向
幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・利用率の低い施設が散在する（民間施設との競合等）。 ・施設間で施設管理コストのバラツキが大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営方法の見直しによる施設管理コストの削減。 ・認定こども園への移行、民間活用等による量と配置の適正化。
まちづくりセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・貸部屋の稼働率が全般的に低い。地域差も見られる。 ・建築物仕上げと設備に関する積み残し工事が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸部屋の有効活用。 ・多機能化、長寿命化。 ・安全重視による工事予算の適正配分。
消防施設	<ul style="list-style-type: none"> ・消防署分署における施設管理コストが増加傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営方法の見直しによる施設管理コストの削減。 ・長寿命化。
その他の施設	<ul style="list-style-type: none"> ・建築物仕上げと設備に関する積み残し工事が多い。 ・博物館、その他教育施設、市民交流施設は、利用状況が高いとは言えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設及び棟の重要度を考慮した工事予算の適正配分。 ・民間活用や広域連携による量と配置の適正化。 ・遊休資産の有効活用（売却、賃貸等）。

表 6-2. 地区別の人口増減傾向

傾向	地区名
人口増	丘、富士北、富士駅南
ほぼ横ばい	松野、鷹岡、岩松、岩松北、伝法、原田、青葉台、神戸
人口減	富士川、富士南、田子浦、富士駅北、天間、吉原、広見、今泉、富士見台、吉永、元吉原、浮島、須津、吉永北、大淵

※平成 45 年までの長期推計

赤：人口増傾向
 緑：ほぼ横ばい
 青：人口減傾向

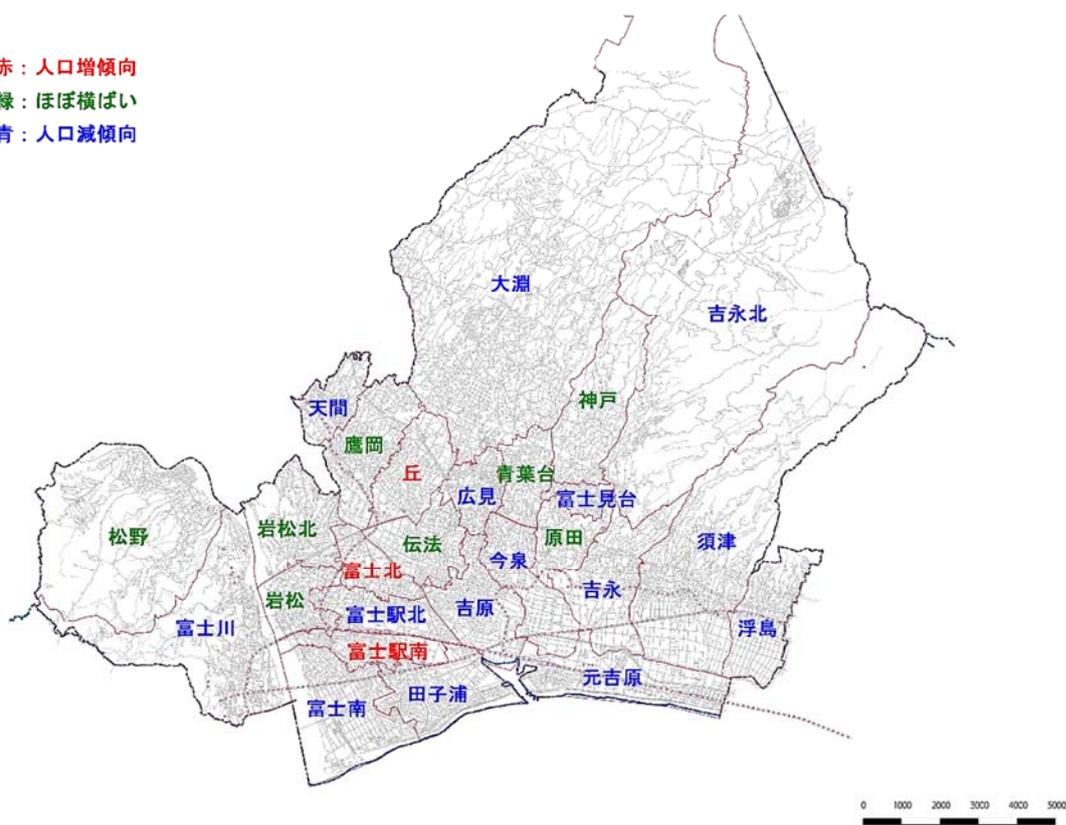


図 6-1. 地区別人口推移予測

各地区施設については、人口構成にあった施設の供給を図れるよう、随時地区別に人口推移予測を行う必要がある。

人口推移予測は、過去 5 年の状態が将来予測に使用されているので、直近での人口変動により、大きく変化してくる。

この差は、長期に予測を行えば行うほど大きくなっていくため、随時中期的に変動を予測できることが望ましい。



2. 今後の取り組み

(1) 建築物総量及び施設配置の適正化

現状の建築物の劣化度、施設の利用状況、利用に係る将来予測等を基に、施設の再編及び有効活用について検討を行う。併せて、建築物の大規模改修や改築の検討時に、廃止・存続の方針を明確にする。

存続させる建築物は、長寿命化、用途変更、多機能化、同種施設の再編、民設民営化等の可能性を幅広く検証する。また、少子高齢化などによる影響で、施設を市が運営管理することによって、民間の同様な施設の経営を圧迫していないか調査を行い、民間活力を考慮した活用方法を検討する。

そのためには、施設の部屋別利用状況、利用者満足度等のより詳細な調査を行うことが必要になる。

また、これらの判断が継続的に検討される体制を整備していく。

(2) 新規施設の建設の取扱い

現状の施設規模を維持することも困難な状況の下、新規施設の建設については慎重に検討しなければならない。新たな施設が必要となった場合、既存施設の統廃合による余剰施設の活用、用途変更等の可能性について検討する体制を整備する。

また、新規に施設を建設する場合は、建築物の長寿命化を図るために特に重視される機能として、「使用形態の変化に適応が可能な階高、床荷重の可変性」、「工法・材料の高耐久性」、「設備機器の更新性、維持管理の容易性」を考慮し、設計・企画時には、スケルトン・インフィル分離方式^{*}などの手法を活用し多機能化を図り、将来の利用形態の変化に柔軟に対応出来るようにすることが必要となる。

※スケルトン・インフィル分離方式：建築物のスケルトン（柱・梁・床等の構造躯体）と インフィル（住戸内の内装・設備等）とを分離した考えに基づき設計されたもの。

(3) 建築物の計画保全による長寿命化の推進

利用度の高い施設や、防災上重要な施設は、計画的な保全を実施しながら建築物の長寿命化を推進する。そのためには日常の施設管理が重要となるが、多くの施設管理者は施設管理の専門家ではなく、さらに数年で異動することが多いため、日常の施設管理手順や自主点検の方法についてマニュアルを整備し、施設管理の質の向上及び維持を図っていく。

(4) 施設管理コストの抑制

施設の管理コストを「見える化」し、施設管理者に対し、コスト削減の意識を高めていく。また、コスト削減に関する事例を、ノウハウとして共有化することが重要であり、そのノウハウを効率良く、継続的に実践できる仕組みを構築するとともに、保全費用のうち法定点検等の委託費用などについては、統一の基準による仕様書ならびに積算などを行うとともに、一括発注など発注方式の検討を行う。

(5) 公共施設マネジメントの推進

所管課毎に関係施設を別々に管理する方式を改め、全施設を一元管理する組織においてマネジメントの統括を行い、図 6-2 のようにPDCAサイクルを構築し実行する。

現在、建築物の情報を一元管理するシステムを構築中であるが、継続的に施設関連のデータを維持管理する体制、財務管理との連携を整え、公共施設マネジメント（Plan - Do - Check - Act の各段階）に資する情報を適時提供できるようにストックする。

また、現在問題となっている、市街地（DID）※における人口の減少などを考慮し、本市全体のまちづくりを見据えた公共施設マネジメントの推進が必要であるため、各部署の連携が重要となる。

なお、全体的な手法としては、PPP や PRE による更新・管理運営費用の削減も視野に入れる必要がある。

※DID（Densely Inhabited District：人口集中地区）

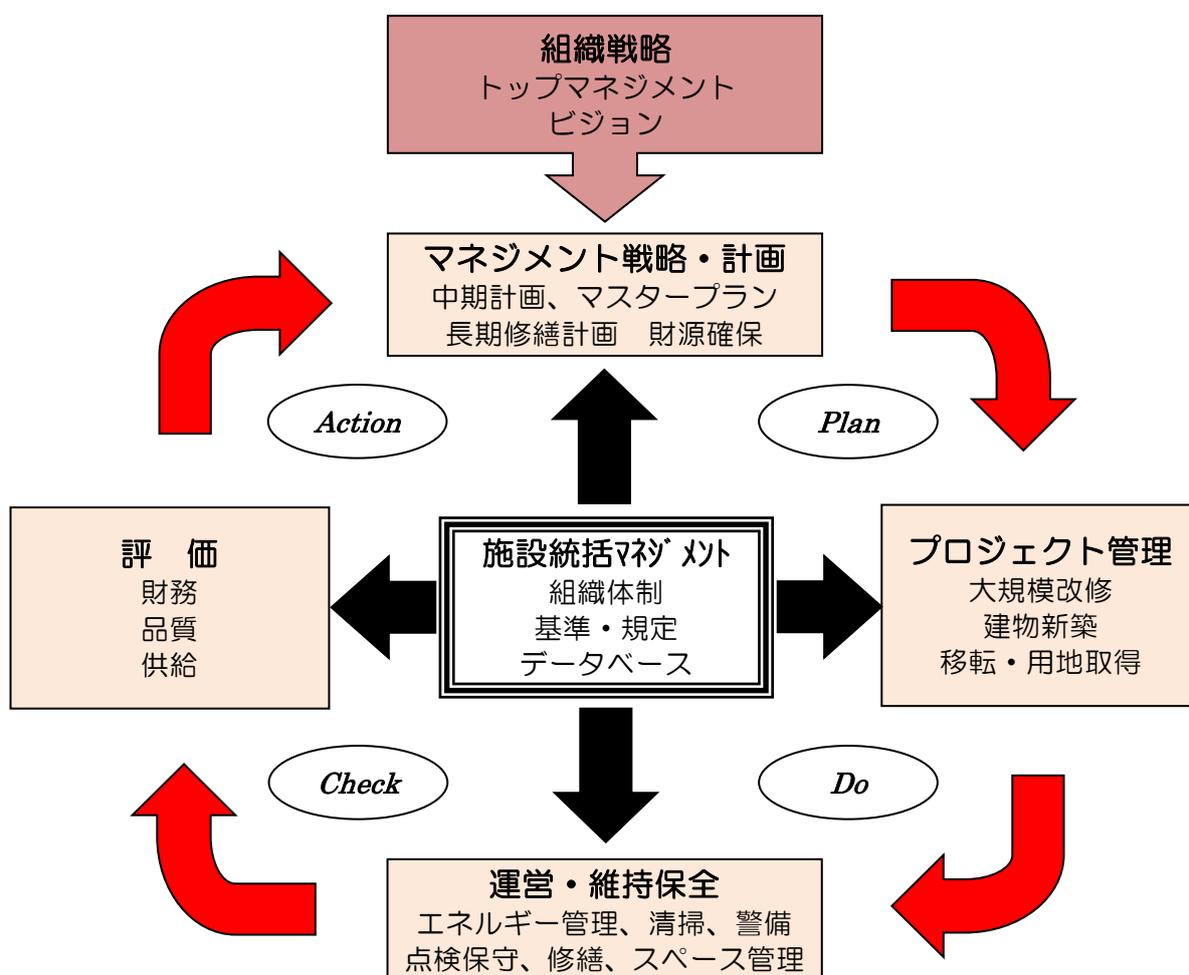


図 6-2. 公共施設マネジメントのPDCAサイクル

3. おわりに

マネジメントにおける、今後の取り組みを実行するうえで最も重要なことは、職員の意識の改革のみならず、市民に公共施設の現状を伝え、そのありかたについて広く関心をもってもらうことが必要である。

そのためには、市民への説明責任（アカウントビリティ）を果たすため、常に市の財政状況及び公共施設の現状を、分かりやすく示すことの出来る仕組みをつくる必要がある。

総務省では、公会計制度改革を行い、より民間企業の会計に近い仕組み（基準モデル）での予算管理を行うよう義務付けるとともに、建築物については、棟ごとに減価償却費を含めた「固定資産台帳」の整備を行い、不動産資産の管理をするよう自治体に指導を行っている。

今回、各施設の所管課へアンケート調査を行った施設管理コストは、基準モデルに移行した場合、財務上で施設ごとに人件費、委託料、需用費、減価償却費等の行政コスト計算が可能となるため、コスト比較が容易にでき、随時、市民へ情報を提供することが出来るようになる。そのためにも、早急に財務会計と公共施設マネジメントの連携を図れる仕組みを構築する必要がある。

このような中、同省及び国土交通省では、政府が平成 25 年 11 月 29 日に決定した「インフラ長寿命化基本計画」に基づく行動計画の策定を、自治体に要請している。この基本計画は、各省庁や自治体、所管法人などが、それぞれ管理するインフラを対象にした行動計画を策定し、その中で、維持管理・更新などを着実に推進するために中長期的な取り組みを行うことを求めている。要請の文書では、行動計画の策定に加え、各自治体が所有する全施設を対象に更新、統廃合、長寿命化などを計画的に行いながら財政負担を軽減・平準化することを目的とした「公共施設等総合管理計画」の策定を別途要請することとしている。

このように、公共施設が全国的に更新時期を迎え、さらにこのまま建築物の全数維持を続けようとする、次世代に大きな負の遺産となることを国でも重大な課題と認識し、老朽化した施設の更新問題について早急な対応が必要と考えている今、本市も公共建築物のあり方について真摯に見直す時期にきており、その成果を次の施設再編計画に繋げていかなければならない。



answer

- ① 借金をして実家を建替える。返済の不足分は、将来子供達に支払ってもらおう。
- ② 実家は両親が住んでいるので、最低限の修繕を計画的に行い、多少の借金をしてでも維持する。
- ③ 老朽化した実家は売却し、二世帯住宅に両親と住む。
- ④ 住む場所を移りたくないなので、空いている部屋等を解体し、規模を小さくする。
- ⑤ 二世帯住宅は他人に貸して、夫婦でアパート暮らしに変える。
- ⑥ 二世帯住宅の1階を賃貸スペースへ改造し、夫婦は2階に暮らし賃貸料で実家を修繕する。
- ⑦ 二世帯住宅を売却し、夫婦でアパート暮らしに変える。
- ⑧ とりあえず何もしない。どうにもならなくなってから考える。

このケースを公共建築物に置き換えて考えてみましょう。実は、公共施設をめぐる状況はさらに深刻な状態にあり、解決のための方法を模索し始めたところです。

まずは現状を知ることから始めましょう。これは非常に意義のある第一歩です。

この問題は、一夜にして答えが見つかり解決するわけではありませんし、答えはひとつではありません。また、個々の建物ごとに答えも違うはずですが、今こそ現実と向き合う時です。

もう一度聞きます。あなたならどうしますか？



～ 資料 ～



※写真：富士市交流プラザ 平成 19 年（2007 年） 新築
（市民センター 昭和 41 年築（1966 年）ならびに旧西図書館 昭和 35 年築（1960 年）の老朽化に伴い、交流センター・西図書館・国際交流ラウンジの 3 つの施設からなる複合施設を建設。）

資料 A. 同規模他市との比較

国内の自治体における人口規模別の公共建築物床面積に関する資料を以下に提示する。

表 A-1. 人口規模別人口 1 人当りの公共建築物床面積の平均値

人口規模	データ把握数/対象自治体数	平均(m ² /人)	最大(m ² /人)	最小(m ² /人)
政令市	19/19	3.39	4.95	2.07
300~400千人	25/26	3.02	4.11	1.74
250~300千人	18/18	3.43	5.50	2.41
200~250千人	20/20	2.83	5.48	1.63
175~200千人	22/22	3.02	5.87	1.64
150~175千人	26/27	3.05	5.65	1.46
140~150千人	16/17	3.32	6.27	2.35
130~140千人	12/15	3.46	6.33	1.55
120~130千人	23/24	3.55	7.00	1.84
110~120千人	27/29	2.99	5.35	1.38
100~110千人	21/24	3.38	6.44	1.57

注) 本市は平成 35 年には人口が 25 万人を下回ることが予想される。

本市が所有する公共建築物の床面積を、他市と比較すると図 A-1 のような結果となった。
(床面積については、保全計画対象外の市営住宅等も含まれている。)

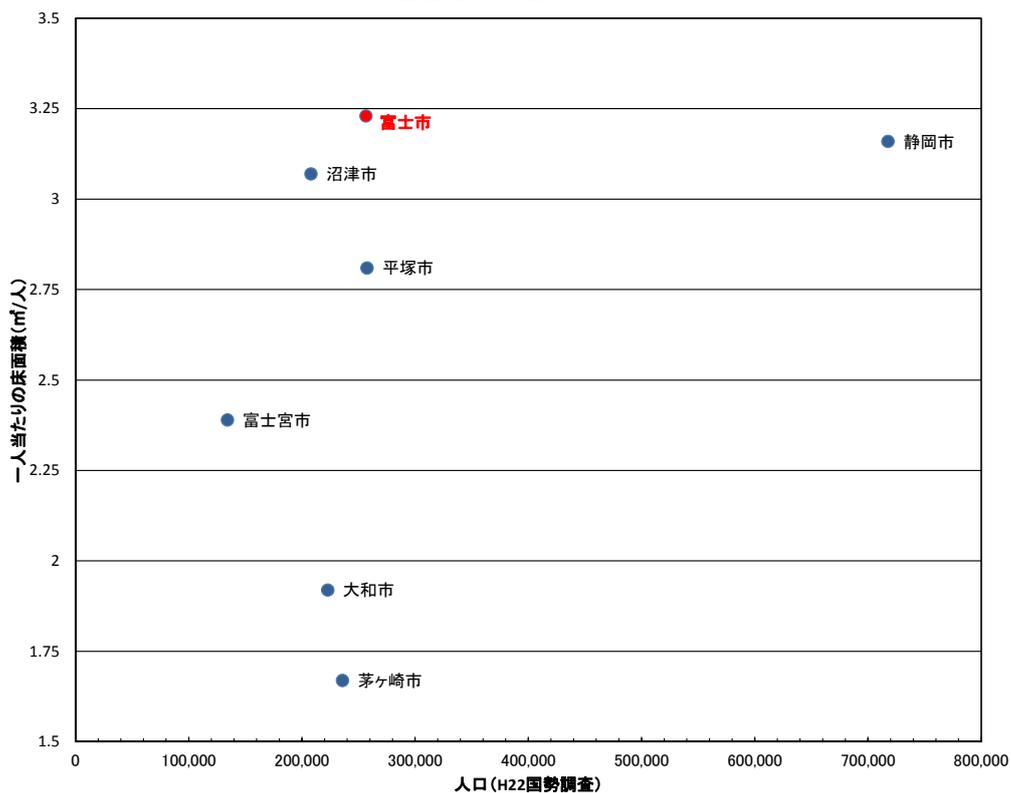


図 A-1. 類似・近隣市市民 1 人当りの施設床面積の比較

表 A-1 によると、本市は 250~300 千人のエリアに入り、平均 3.43 m²/人となるが、実際に人口が比較的近い沼津市、平塚市、茅ヶ崎市、大和市（約 21 万~約 26 万人）と比較すると、本市は一人当たりの床面積は多いことがわかる。

なお、注記にも書かれているように、平成 35 年には 25 万人を下回るとの推計が出ているので、200～250 千人のエリアと比較しても、平均値より多いことになる。

次に、すでに公共施設マネジメントに取り組んでいる他市との比較を行った結果、図 A-2 のような結果になった。

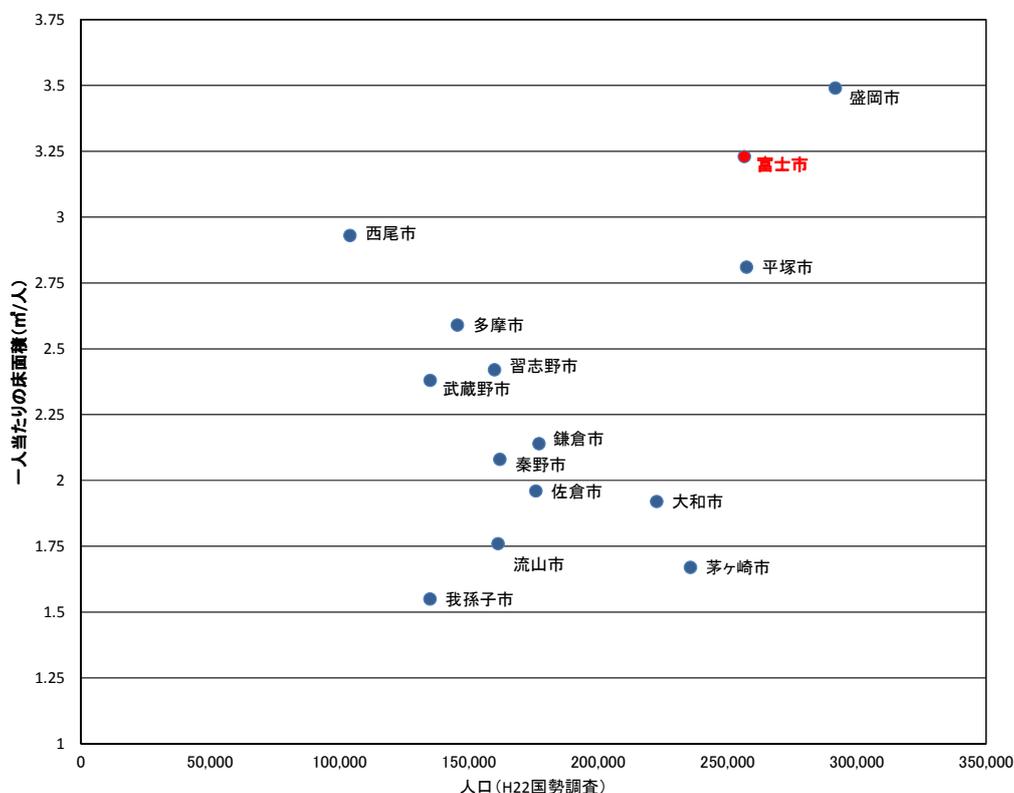


図 A-2. 公共施設マネジメント先進市市民 1 人当たりの施設床面積の比較

【参考文献】

- 1) 根本祐二：「全国自治体公共施設延床面積データ分析結果報告」，東洋大学 PPP 研究センター紀要 No.2, 2012

表 A-1 によると、どの市も平均床面積に達してはいないが、将来予測を行った結果、このまま施設の総量を維持し続けると、将来世代に大きな負担を残すことになるため、公共施設マネジメントに積極的に取り組んでいる。

その先駆けとして、秦野市は平成 22 年度に「未来につなぐ市民力と職員力のたすき」として、公共施設の再配置に関する方針を施設白書に引き続き策定した。

その中で、再配置に関する 4 つの方針として、①原則として、新規の公共施設（ハコモノ）は建設を行わない。②機能更新の最優先は、義務教育など自治体運営上最重要機能のみとする。③40 年かけてハコモノの 31.3%を削減。④計画を進めるための 5 つの視点（ハコモノと機能の分離、公民連携の推進、複合化とスケルトン・インフィル分離方式での建設など先進的な取り組みを行っており、他の市でも、施設の再編整備に向けて様々な取り組みを行っている。

資料 B. 中長期保全計画の対象棟一覧

表 B-1 用途の欄で「その他の施設」とあるのは、5 章表 5-2 施設用途の「高等学校・専門学校」・「体育施設」・「博物館」・「図書館」・「文化施設」・「その他教育施設」・「市民交流施設」・「庁舎・事務所」・「高齢者福祉施設」・「障害福祉施設」・「観光・産業振興施設」・「保健施設」・「医療施設」・「斎場・墓園」・「防災施設」・「その他施設」の総称。

構造の凡例は以下のとおり

RC（鉄筋コンクリート造） S（鉄骨造） W（木造）
 RC+S（鉄筋コンクリート+鉄骨造） SRC（鉄骨鉄筋コンクリート造）
 S+W（鉄骨+木造） SRC+S（鉄骨鉄筋コンクリート+鉄骨造）
 SRC+RC+S（鉄骨鉄筋コンクリート+鉄筋コンクリート+鉄骨造）

表 B-1. 中長期保全計画対象棟一覧

平成 25 年 3 月末現在

用途	建物名称（主施設名）	棟名称	構造	竣工年	棟延床面積 (㎡)
小 学 校	富士市立吉原小学校	管理・普通・特別教室棟	RC	1980	4,078.82
		屋内運動場	S	1981	1,269.41
		普通・特別教室棟	RC	1982	3,128.18
		給食棟	S	1982	273.78
	富士市立今泉小学校	普通教室棟	RC	1976	4,179.18
		管理・特別・普通教室棟	RC	1978	4,132.05
		渡り廊下・給食棟（東）	RC	1978	538.63
		渡り廊下棟（西1F連絡通路）	RC	1978	121.50
		屋内運動場	RC+S	1980	1,233.96
	富士市立伝法小学校	屋内運動場	S	2007	1,417.77
		普通教室棟	RC	2008	3,979.41
		給食棟	S	2008	393.66
		管理・普通教室棟	RC	2010	3,012.85
		昇降口棟	RC	2010	249.98
		渡り廊下棟（2・3F連絡通路）	RC	2010	178.50
	富士市立神戸小学校	管理・特別・普通教室棟	RC	1985	3,043.41
		給食棟	S	1985	262.62
		屋内運動場	S	1986	1,242.96
		特別・普通教室棟	RC	1994	1,539.66
		渡り廊下棟（2F連絡通路）	S	1994	96.59
富士市立元吉原小学校	普通教室棟	RC	1970	1,614.00	
	給食棟	S	1986	279.00	
	普通教室棟	RC	1973	1,309.04	
	管理・特別・普通教室棟	RC	1980	2,040.52	
	屋内運動場	S	1983	1,291.66	

用途	建物名称（主施設名）	棟名称	構造	竣工年	棟延床面積 (㎡)
小 学 校	富士市立東小学校	屋内運動場	S	1972	605.30
		管理・特別・普通教室棟	RC	1979	1,577.26
		給食棟	S	1979	129.55
		特別教室棟	RC	1992	883.75
	富士市立須津小学校	普通教室棟	RC	1965	2,373.86
		管理・特別・普通教室棟	RC	1967	1,901.25
		渡り廊下・給食棟	RC	1967	848.41
		屋内運動場	S	1972	924.98
		普通教室棟	RC	1992	1,315.35
	富士市立吉永第一小学校	普通教室・給食棟	RC	1975	2,415.60
		管理・特別教室棟	RC	1982	1,850.15
		渡り廊下棟（1・2F連絡通路）	RC	1982	130.70
		特別教室・屋内運動場	RC+S	1990	2,250.71
	富士市立吉永第二小学校	管理・普通教室棟	RC	1988	2,541.63
		給食棟	S	1988	178.87
		屋内運動場	S	1988	1,260.65
		特別教室棟	RC	1995	1,115.60
		渡り廊下棟（2・3F連絡通路）	S	1995	25.00
	富士市立原田小学校	特別・普通教室棟	RC	1967	1,847.15
		管理・普通教室棟	RC	1967	1,546.68
		普通・特別教室・給食棟	RC	1967	2,164.94
		屋内運動場	S	1974	929.60
	富士市立大淵第一小学校	管理・普通教室棟	RC	1970	2,037.88
		普通教室棟	RC	1978	1,732.26
		屋内運動場	RC+S	1978	1,055.50
		特別・普通教室棟	RC	1981	2,799.48
		渡り廊下棟（1・2F連絡通路）	RC	1981	134.95
		給食棟	S	1981	264.90
	富士市立大淵第二小学校	多目的室	W	1980	116.64
		管理・普通・特別教室棟	RC	1988	1,439.58
		給食棟	S	1988	89.25
		屋内運動場	S	1988	864.81
富士市立富士第一小学校	普通教室棟	RC	1966	1,117.80	
	屋内運動場	RC+S	1973	1,377.78	
	特別・普通教室棟	RC	1966	2,075.22	
	普通教室棟	RC	1968	1,362.87	
	管理・普通教室棟	RC	1969	2,914.65	
	給食棟	RC	1968	592.43	
	渡り廊下棟（西1・2F連絡通路）	RC	1969	171.00	
	渡り廊下棟（東1・2F連絡通路）	RC	1969	148.50	

用途	建物名称（主施設名）	棟名称	構造	竣工年	棟延床面積 (㎡)
小 学 校	富士市立富士第二小学校	特別・普通教室棟	RC	1958	1,949.55
		普通教室棟	RC	1970	2,820.20
		給食・昇降口棟	RC	1972	479.85
		管理・特別教室棟	RC	1984	1,083.80
		渡り廊下棟（2F連絡通路）	RC	1984	30.34
		屋内運動場	S	1997	1,334.28
	富士市立田子浦小学校	管理・特別・普通教室・給食棟	RC	1963	3,332.14
		特別・普通教室棟	RC	1963	3,063.72
		渡り廊下棟（西1F連絡通路）	RC	1963	154.20
		渡り廊下棟（東1F連絡通路）	RC	1963	154.20
		屋内運動場	RC+S	1971	1,222.25
	富士市立岩松小学校	管理・普通教室棟	RC	1958	2,638.82
		校舎棟（印刷・更衣・ガス庫）	RC	1961	94.16
		渡り廊下棟（1F連絡通路）	S	1958	101.81
		普通教室棟	RC	1973	1,505.61
		特別・普通教室棟	RC	1976	1,710.70
		給食棟	S	1978	256.10
		屋内運動場	S	1988	1,254.50
	富士市立鷹岡小学校	特別・普通教室棟	RC	1992	1,896.34
		特別・普通教室棟	RC	1968	1,522.41
		特別・普通教室棟	RC	1970	1,956.22
		屋内運動場・倉庫	RC+S	1981	1,428.28
		管理・特別教室棟	RC	1982	658.28
		給食棟	S	1985	410.91
	富士市立広見小学校	管理・特別・普通教室棟	RC	1971	4,653.66
		給食棟（増築）	S	1987	129.43
		普通教室棟	RC	1975	2,263.00
		渡り廊下棟（2F連絡通路）	RC	1975	57.00
		屋内運動場	RC+S	1976	1,173.15
	富士市立丘小学校	特別・普通教室・給食棟	RC	1973	3,377.69
		特別・普通教室棟	RC	1979	1,401.19
		管理・特別・普通教室棟	RC	2013	2,207.80
		渡り廊下棟	S	2013	195.40
ポーチ(グラウンド通路)		RC	1973	192.10	
屋内運動場		RC+S	1976	1,033.87	
富士市立富士見台小学校	管理・普通教室棟	RC	1977	3,085.86	
	特別教室棟	RC	1977	1,454.02	
	給食棟	S	1977	266.43	
	屋内運動場	RC+S	1978	1,133.07	
	特別・普通教室棟	RC	1986	1,448.69	

用途	建物名称（主施設名）	棟名称	構造	竣工年	棟延床面積 (㎡)
小 学 校	富士市立富士南小学校	管理・特別・普通教室棟	RC	1978	3,932.44
		特別教室棟	RC	2006	1,188.56
		給食棟	S	1978	267.38
		特別・普通教室棟	RC	1978	2,439.04
		渡り廊下棟（1・2F連絡通路）	RC	1978	110.09
		屋内運動場	RC+S	1980	1,220.32
	富士市立天間小学校	管理・特別・普通教室棟	RC	1979	3,222.76
		給食棟	S	1979	266.50
		普通教室棟	RC	1979	1,355.42
		渡り廊下棟（1～3F連絡通路）	RC	1979	380.72
		屋内運動場	S	1982	1,115.53
	富士市立岩松北小学校	管理・特別・普通教室棟	RC	1989	4,734.44
		特別・普通教室棟	RC	2007	1,649.25
		給食棟	S	1989	256.52
		屋内運動場	S	1990	1,187.24
	富士市立富士中央小学校	管理・特別教室・昇降口棟	RC	1993	2,866.68
		普通・特別教室棟	RC	1993	2,845.18
		給食棟	S	1993	286.36
		屋内運動場	S	1994	1,359.43
	富士市立青葉台小学校	管理・特別教室棟	RC	1998	1,516.91
		昇降口棟	RC	1998	332.14
		普通・特別教室棟	RC	1998	3,994.50
		給食棟	S	1998	281.48
		屋内運動場	S	1998	1,393.40
富士市立富士川第一小学校	管理・特別・普通教室棟	RC+S	1964	4,780.30	
	特別教室棟	RC	1968	611.41	
	昇降口棟	S	2006	121.04	
	屋内運動場	RC+S	1968	898.45	
富士市立富士川第二小学校	管理・特別・普通教室棟	RC	1968	3,986.18	
	屋内運動場	RC+S	1982	807.14	
中 学 校	富士市立吉原第一中学校	普通教室棟	RC	1961	2,745.64
		渡り廊下棟（北・中1F連絡通路）	RC	1983	66.34
		渡り廊下棟（中・南1F連絡通路）	RC	1983	34.58
		技術科棟	S	1983	299.03
		管理・普通教室棟	RC	1974	3,801.65
		屋内運動場	RC+S	1978	1,382.50
		特別教室棟	RC	1983	1,760.57
		給食棟	S	1983	297.53
		渡り廊下棟（西1・2F連絡通路）	RC	1983	485.31

用途	建物名称（主施設名）	棟名称	構造	竣工年	棟延床面積 (㎡)
中 学 校	富士市立吉原第二中学校	屋内運動場	RC+S	1974	1,105.06
		技術科棟	S	1986	373.24
		給食棟	S	1979	258.00
		特別・普通教室棟	RC	1979	3,534.08
		管理・特別・普通教室棟	RC	1981	2,595.00
		渡り廊下棟（1～3F連絡通路）	RC	1981	346.41
	富士市立吉原第三中学校	管理・特別・普通教室棟	RC	1989	4,611.95
		給食棟	S	1989	256.00
		技術科棟	S	1989	387.00
		重層屋内運動場	SRC+S	1999	2,875.24
	富士市立元吉原中学校	管理・特別教室棟	RC	1971	1,278.86
		重層屋内運動場	SRC+S	1997	3,043.87
		普通教室棟	RC	1987	2,210.91
		技術科棟	S	1987	366.35
		給食棟	S	1987	327.50
	富士市立吉原東中学校	特別・普通教室棟	RC	1954	360.00
		給食室	S	1990	195.80
		管理・特別・普通教室棟	RC	1965	782.95
		屋内運動場	S	1971	812.66
		特別教室棟	RC	1979	651.33
		普通教室棟	RC	1983	653.13
	富士市立須津中学校	管理・特別・普通教室棟	RC	1977	4,085.05
		特別教室棟	RC	1994	948.37
		昇降口棟	W	1977	90.45
		技術科棟	S	1984	562.71
		給食棟	S	1984	416.98
		重層屋内運動場	SRC+S	1993	3,101.61
	富士市立大淵中学校	管理・普通教室棟	RC	1966	1,994.70
		重層屋内運動場	SRC+S	1995	3,107.19
		特別・普通教室棟	RC	1970	1,451.41
特別・普通教室棟		RC	1985	1,806.83	
渡り廊下棟（2F連絡通路）		RC	1985	147.76	
給食棟		S	1990	280.50	
技術科棟		S	1990	367.80	
富士市立富士中学校	重層屋内運動場	SRC+S	1992	3,122.98	
	管理・特別・普通教室棟	RC	1997	7,274.77	
	技術科棟	S	1997	386.50	
	給食棟	S	1997	272.28	
	渡り廊下棟（2F連絡通路）	RC+S	1997	170.36	
	部 室	RC	1997	250.25	

用途	建物名称（主施設名）	棟名称	構造	竣工年	棟延床面積 (㎡)
中 学 校	富士市立富士南中学校	管理・特別・普通教室棟	RC	1962	4,539.51
		特別・普通教室棟	RC	1991	847.62
		技術科棟	S	1995	438.38
		重層屋内運動場	SRC+S	2003	3,024.49
		特別・普通教室棟	RC	1981	1,581.93
		給食棟	S	1987	331.56
	富士市立田子浦中学校	管理・特別・普通教室・給食棟	RC	1973	5,379.95
		技術科棟	S	1975	280.50
		重層屋内運動場	SRC+S	2012	3,078.72
	富士市立岩松中学校	管理・普通教室・給食棟	RC	1970	2,037.68
		重層屋内運動場	SRC+S	2009	3,130.05
		普通教室棟	RC	1975	1,838.85
		特別教室棟	RC	1983	919.06
		技術科棟	S	1983	330.42
	富士市立鷹岡中学校	管理・普通教室棟	RC	1966	2,494.73
		重層屋内運動場	SRC+S	1991	2,871.70
		普通教室棟	RC	1967	2,294.13
		特別教室棟	RC	1984	1,982.46
		技術科棟	S	1984	289.50
		給食棟	S	1984	285.00
	富士市立岳陽中学校	管理・特別・普通教室・給食棟	RC	1974	5,411.89
		特別教室棟	RC	1990	1,458.00
		渡り廊下棟（1・2F連絡通路）	RC	1990	124.50
		特別・普通教室棟	RC	1977	2,370.00
		技術科棟	S	1977	279.75
		屋内運動場	RC+S	1977	1,293.16
	富士市立吉原北中学校	管理・特別・普通教室棟	RC	1981	4,945.84
		特別教室棟	RC	1985	1,371.41
		昇降口棟	RC	1985	333.52
		屋内運動場	S	1981	1,377.71
		給食棟	S	1981	313.61
		技術科棟	S	1981	283.44
	富士市立富士川第一中学校	管理・小荷物昇降機棟	RC	1962	645.99
会議室便所棟		RC	1986	55.72	
重層屋内運動場		S	2009	2,046.88	
普通教室棟		RC	1973	2,449.15	
特別教室棟		RC	1980	1,456.43	
渡り廊下棟（2F連絡通路）		RC	1980	54.30	
富士市立富士川第二中学校	管理・普通教室棟	RC	1976	2,368.67	
	屋内運動場	RC+S	1977	1,118.31	
	特別教室棟	RC	1988	1,175.53	

用途	建物名称（主施設名）	棟名称	構造	竣工年	棟延床面積 (㎡)	
子育て支援施設	富士見台児童クラブ	児童クラブ	S	1993	105.90	
	富士かじま児童クラブ(第1.2)	児童クラブ	S	2010	308.50	
	小木の里子どもクラブ(A・B)	児童クラブ	S	2009	251.73	
	きぎょうの里子どもクラブA	児童クラブ(第1)	S+W	1998	140.18	
	きぎょうの里子どもクラブB・C	児童クラブ	S	2011	298.12	
	須津なかよしクラブ	児童クラブ	S	2004	111.79	
	いまいずみ児童クラブ	児童クラブ	S	2009	276.84	
	伝法児童クラブ(第1.2)	児童クラブ	S	2007	245.50	
	丘第1児童クラブ	児童クラブ	S	2001	112.63	
	丘児童クラブ第二専用施設	児童クラブ	W	2013	298.12	
	たごうら南児童クラブ	たごうら南児童クラブ	S	2003	107.64	
	たごうら北児童クラブ	たごうら北児童クラブ	W	2010	145.67	
	岩松北第1児童クラブ	児童クラブ	S	2003	111.79	
	岩松北第2・3児童クラブ	児童クラブ	W	2012	299.78	
	青葉台児童クラブA	児童クラブA	S	2005	111.79	
	青葉台児童クラブB	児童クラブB	W	2010	133.05	
	松風児童クラブ1	児童クラブ	S	2004	113.44	
	はらだ児童クラブ	児童クラブ	S	2004	111.79	
	てんまっ子児童クラブ	児童クラブ	S	2008	127.52	
	岩松かりがね学童クラブ	児童クラブ	W	2013	291.50	
	よしきた児童クラブ	児童クラブ	S	2008	106.82	
	富士本児童クラブ	児童クラブ	W	2012	79.50	
	富士市広見児童館	児童館	S	1978	337.35	
	ぐるん・ば よねのみや	児童館	S	2003	245.95	
	富士市東部児童館	児童館	W	2013	407.48	
	保育園	富士市立第一保育園	園舎棟	RC	2004	974.54
		富士市立第二保育園	園舎棟	RC	1976	736.00
		富士市立第三保育園	園舎棟	RC	1981	686.16
富士市立柏原保育園		園舎棟	W	1998	530.23	
富士市立杉の木保育園		園舎棟	RC	1989	818.48	
富士市立広見保育園		園舎棟	RC	1990	885.61	
富士市立中野保育園		園舎棟	RC	1992	502.50	
富士市立蓼原保育園		園舎棟	RC	1980	695.15	
富士市立南保育園		園舎棟	RC	1984	811.25	
富士市立浜保育園		園舎棟	RC	1983	502.73	
富士市立なかじま保育園		園舎棟	RC	1991	924.81	
富士市立岩本保育園		園舎棟	RC	2010	1,114.35	
富士市立森島保育園		園舎棟	W	1978	571.86	
富士市立鷹岡保育園		園舎棟	RC	1993	757.88	
富士市立厚原保育園		園舎棟	RC	1986	843.60	
富士市立浅間保育園		園舎棟	RC	1985	765.15	
富士市立てんま保育園		園舎棟	W	1995	499.60	

用途	建物名称（主施設名）	棟名称	構造	竣工年	棟延床面積 (㎡)
保育園	富士市立松千代保育園	園舎棟	RC	2004	934.94
	富士市立岩淵保育園	園舎棟	RC	1986	497.88
		えほんの家	S	1997	19.44
幼稚園	富士市立元吉原幼稚園	園舎棟	RC	1985	897.84
	富士市立昭和幼稚園	園舎棟	RC	1988	1,294.55
	富士市立原田幼稚園	園舎棟	RC	1983	1,066.01
		言語治療棟	RC	1983	100.00
	富士市立岩松幼稚園	園舎・言語治療棟	RC	1987	1,410.83
	富士市立大淵幼稚園	言語治療棟	S	1973	153.90
		園舎棟	RC	1986	936.48
	富士市立田子浦幼稚園	園舎棟	RC	1986	1,308.98
		言語治療棟	RC	1986	120.51
	富士市立浜幼稚園	園舎棟	RC	1984	796.62
	富士市立南幼稚園	園舎棟	RC	2004	931.56
	富士市立天間幼稚園	園舎棟	RC	1999	930.49
	富士市立富士川第一幼稚園	園舎棟	S	1968	354.00
		遊戯室	S	1968	168.15
		管理棟	S	1968	88.70
		えほんの家	W	1979	21.87
	富士市立富士川第二幼稚園	園舎棟	S+W	1967	444.69
		遊戯室・管理棟	S+W	1979	432.00
まちづくり施設	富士市吉原まちづくりセンター	まちづくりセンター	RC	1982	1,045.02
	富士市伝法まちづくりセンター	まちづくりセンター	RC	2012	1,109.88
	富士市今泉まちづくりセンター	まちづくりセンター（本館）	RC	1999	848.36
	富士市今泉まちづくりセンター分館	まちづくりセンター（分館）	RC+S	1965	325.97
		まちづくりセンター（分館増築）	RC	1973	304.53
	富士市神戸まちづくりセンター	まちづくりセンター	RC	1995	579.92
	富士市広見まちづくりセンター	まちづくりセンター	RC	1993	609.49
	富士市青葉台まちづくりセンター	まちづくりセンター	RC	2001	726.61
	富士市元吉原まちづくりセンター	まちづくりセンター（本館棟）	RC	1990	575.75
		まちづくりセンター（多目的ホール棟）	S	2009	259.72
	富士市須津まちづくりセンター	まちづくりセンター	RC	1991	577.11
	富士市浮島まちづくりセンター	まちづくりセンター	RC	1987	437.51
	富士市吉永まちづくりセンター	まちづくりセンター	RC	1987	1,422.37
	富士市吉永北まちづくりセンター	まちづくりセンター	RC	1992	526.91
	富士市原田まちづくりセンター	まちづくりセンター（本館棟）	RC	1985	479.27
		まちづくりセンター（増築棟）	RC	1994	428.60
	富士市富士見台まちづくりセンター	まちづくりセンター（本館棟）	RC	1983	467.14
		まちづくりセンター（増築棟）	RC	1992	192.37
		渡り廊下棟（1F連絡通路）	RC	1992	31.04
	富士市大淵まちづくりセンター	まちづくりセンター（本館棟）	RC	1989	594.01
まちづくりセンター（増築棟）		RC	2008	710.58	

用途	建物名称（主施設名）	棟名称	構造	竣工年	棟延床面積 (㎡)
まちづくり施設	富士市富士駅北まちづくりセンター	まちづくりセンター（本館棟）	RC	1972	423.33
		まちづくりセンター（増築棟）	RC	1986	503.00
	富士市富士北まちづくりセンター	まちづくりセンター	RC	2002	1,057.42
	富士市富士駅南まちづくりセンター	まちづくりセンター（本館）	RC	1974	423.33
		まちづくりセンター（増築棟）	RC	1997	558.65
	富士市田子浦まちづくりセンター	まちづくりセンター（本館棟）	RC	1985	566.58
		まちづくりセンター（増築棟通路）	S	2003	44.75
		まちづくりセンター（増築棟）	RC	2003	623.18
	富士市富士南まちづくりセンター	まちづくりセンター（本館棟）	RC	1981	498.27
	富士市岩松まちづくりセンター	まちづくりセンター（本館棟）	RC+S	1979	520.02
	富士市岩松北まちづくりセンター	まちづくりセンター	RC	1998	715.66
	富士市富士川まちづくりセンター	まちづくりセンター	RC	1990	955.40
	富士市松野まちづくりセンター	まちづくりセンター	RC	1998	1,323.40
	富士市鷹岡まちづくりセンター	まちづくりセンター	RC	2010	1,235.68
	富士市天間まちづくりセンター	まちづくりセンター（本館棟）	RC	1984	438.32
		まちづくりセンター（多目的ホール棟）	S	2003	266.51
富士市丘まちづくりセンター	まちづくりセンター（本館棟）	RC	1984	438.32	
	まちづくりセンター（増築棟）	RC	2003	476.43	
消防施設	富士市中央消防署臨港分署	分署	RC	2005	468.10
	富士市中央消防署吉永分署	分署	RC	1986	396.97
	富士市中央消防署富士見台分署	分署	RC	1981	377.24
	富士市中央消防署大淵分署	分署	RC	1985	396.92
	富士市西消防署	分署	RC	1978	813.00
	富士市西消防署鷹岡分署	分署	RC	2012	538.66
	富士市西消防署南分署	分署	RC	1975	366.50
	富士市西消防署富士川分署	分署	RC	1998	633.31
	富士市消防団第1分団	詰所	S	1984	116.00
	富士市消防団第2分団	詰所	S	1989	116.00
	富士市消防団第3分団（伝法）	詰所	S	2010	117.24
	富士市消防団第3分団（日吉）	詰所	S	1985	80.82
	富士市消防団第4分団	詰所	S	2006	117.45
	富士市消防団第5分団	詰所	S	1984	80.82
	富士市消防団第6分団	詰所	S	2012	117.24
	富士市消防団第7分団	詰所	S	1991	116.00
	富士市消防団第8分団	詰所	S	1992	185.45
	富士市消防団第9分団（中里）	詰所	S	1987	116.00
	富士市消防団第9分団江尾車庫	車庫	S	1977	57.50
	富士市消防団第10分団（今井）	詰所	S	2011	117.24
	富士市消防団第10分団車庫	車庫	S	1978	37.72
	富士市消防団第11分団	詰所	S	1986	116.00
富士市消防団第12分団	詰所	S	1989	116.00	

用途	建物名称（主施設名）	棟名称	構造	竣工年	棟延床面積 (㎡)
消 防 施 設	富士市消防団第13分団	詰所	S	2005	140.18
	富士市消防団第14分団	詰所	S	1985	116.00
	富士市消防団第15分団	詰所	S	1994	116.00
	富士市消防団第16分団	詰所	S	1971	113.40
	富士市消防団第17分団	詰所	S	1985	116.00
	富士市消防団第18分団	詰所	RC	1981	149.85
	富士市消防団第19分団	詰所	S	1990	116.00
	富士市消防団第20分団	詰所	S	1991	116.00
	富士市消防団第21分団	詰所	S	1987	116.00
	富士市消防団第22分団	詰所	S	2011	117.24
	富士市消防団第23分団	詰所	S	1985	116.00
	富士市消防団第24分団	詰所	S	1982	116.00
	富士市消防団第25分団	詰所	S	1982	116.00
	富士市消防団第26分団	詰所	S	1987	116.00
	富士市消防団第27分団	詰所	S	1994	88.00
	富士市消防団第28分団	詰所	S	1980	82.81
	富士市消防団第29分団	詰所	S	1992	81.66
富士市消防団第30分団	詰所	S	1982	81.45	
富士市消防団第31分団	詰所	S	1995	89.10	
そ の 他 の 施 設	富士市立高等学校	重層屋内運動場	SRC+S	2007	3,771.12
		特別教室棟	RC	1975	2,310.68
		管理・特別・普通教室棟	RC	1993	8,429.71
		部室・自転車置き場	RC	1993	1,083.63
	富士市立高等学校第二グラウンド	屋内練習場	S	2011	498.00
	富士市立高等学校野球部寄宿舍	野球部寄宿舍	S	2009	702.04
	富士市立看護専門学校	校舎棟	RC	1992	3,529.69
		講堂・屋内運動場	S	1992	731.06
	富士市立富士体育館	体育館	SRC+S	1991	7,075.03
	富士市立富士体育館附属富士柔剣道場	武道場	S	1990	500.60
	富士総合運動公園陸上競技場	陸上競技場メインスタンド	RC	1990	4,265.75
	富士総合運動公園弓道場	射場	S	1986	208.17
	富士総合運動公園温水プール	温水プール	RC	1989	2,945.12
	富士総合運動公園体育館	屋内運動場	S	1978	2,070.00
	富士総合運動公園野球場	野球場クラブハウス・更衣室	S	2007	236.74
	砂山公園プール	管理事務所・更衣室・機械室	RC	1996	2,165.70
		第2機械室	RC	1996	236.00
	富士市立富士川体育館	体育館	RC+S	1995	5,149.49
	富士市立博物館	博物館本館	RC+S	1980	1,734.75
		実習室	S	1980	200.00
富士市立博物館工芸実習室	工芸実習室	S	1987	243.00	
富士市立歴史民俗資料館	資料館	W	1994	656.95	
	資料館収蔵庫	RC	1997	208.75	

用途	建物名称（主施設名）	棟名称	構造	竣工年	棟延床面積 (㎡)
その他の施設	富士市立中央図書館	図書館（本館）	RC	1995	7,377.86
	富士市立中央図書館分館	図書館（分館）	RC	1993	2,985.22
	富士市文化会館	管理・共用・ホール棟	SRC+RC+S	1993	22,674.56
	富士市立少年自然の家	管理・宿泊棟	RC	1974	1,765.76
		研修棟	RC	1974	305.98
		屋内運動場	RC+S	1982	916.44
		食堂棟	RC+S	1990	595.06
	富士市立丸火青少年の家	宿泊棟	W	2009	243.46
	富士市立青少年センター	青少年センター	RC	1967	728.88
		宿泊棟	RC	1967	1,138.80
	富士市交流センター	交流プラザ棟	SRC+RC+S	2007	5,721.50
	富士市富士川ふれあいホール	ホール・事務所棟	RC	1985	2,818.01
		研修棟	RC	1985	353.24
	富士市役所	市庁舎	SRC	1970	19,543.00
		車庫棟	RC	1970	750.73
		現業棟	RC	1970	1,164.68
		消防防災庁舎	SRC	2001	7,796.12
		渡り廊下棟（2F連絡通路）	S	2001	93.50
	埋蔵文化財調査室	事務所・作業所	S	2005	388.21
	新富士駅南整備課事務所	事務所	S	2000	231.66
	富士市高齢者就業センター	管理棟	RC	1993	1,027.61
	ふれあいの家	デイサービスセンター	W	1991	113.40
	富士川地域福祉センター	福祉センター	RC	1992	1,678.23
	滝川福祉センター	福祉センター	RC	1975	574.98
	元町福祉センター	福祉センター	W	1973	250.29
	社会福祉センター広見荘	福祉センター	RC+S	1972	1,301.18
	社会福祉センター田子浦荘	福祉センター	RC+S	1980	988.90
	社会福祉センター東部市民プラザ	福祉センター	RC+S	1988	1,585.39
	社会福祉センター鷹岡市民プラザ	福祉センター	SRC+RC+S	1990	1,931.67
		福祉センター（多目的室）	S	1990	215.39
	富士市立くすの木学園	管理棟	RC	2005	2,708.34
		渡り廊下（西）	S	2005	20.60
		渡り廊下（東）	S	2005	28.51
	富士市立ふじやま学園	居住管理棟	RC	2005	1,436.97
	こども療育センター	療育センター	RC	1991	1,721.48
	吉原つくし	作業所1	S	1989	169.29
		作業所2	W	1989	113.40
	富士市立そびな寮	寄宿舍	RC	1974	653.60
	富士市立あおぞら第1寮	寄宿舍	W	2004	156.93
	富士市立あおぞら第2寮	寄宿舍	W	2004	156.93
	富士市重度障害者生活訓練ホームひかりの丘	障害者訓練棟	W	1992	165.62
障害者訓練棟		W	2009	91.55	

用途	建物名称（主施設名）	棟名称	構造	竣工年	棟延床面積 (㎡)
その他の施設	富士市勤労者総合福祉センター	福祉センター	SRC	1990	5,351.30
	富士市産業交流展示場	多目的ホール棟	S	2007	5,742.96
	富士市新富士駅都市施設	事務所	S	1988	1,578.00
	富士市道の駅富士川楽座	本館	S	2000	5,703.30
		立体駐車場	S	2012	3,111.85
	富士市保健センター	本館（西館）	RC	1988	3,911.93
		健康増進ホール	S	1988	526.72
		別館（東棟）	RC	2002	4,336.95
	富士川保健センター	保健センター	RC	1985	548.66
	富士市救急医療センター	内科・小児科棟	RC	1988	576.60
		外科棟	RC	1992	310.80
	富士市斎場	斎場	RC	1986	2,544.74
	富士市森林墓園	管理棟	S+W	2001	253.96
	五貴島防災倉庫	防災倉庫	S	2008	325.12
	八代町倉庫	防災倉庫	RC+S	1982	614.40
富士市富士川学校給食センター	給食センター	S	1998	913.19	

富士市公共建築物保全計画

～公共施設の現状とマネジメントに向けて～

〈発行〉 平成 26 年（2014 年）6 月
富士市公共建築物保全計画策定検討委員会
〒417-8601 富士市永田町 1-100
TEL (0545) 51-0123〔代表〕
TEL (0545) 55-2719〔直通〕

富士市行政資料登録番号

26-2